

平成 27 年度使用小学校用教科用図書の採択結果等について

三次市教育委員会

| 種 目 | 発行者 | 採 択 理 由 |
|-----|-----|--|
| 国 語 | 光 村 | ① 学習の手引きの内容が、具体的に分かりやすく示してあるため、児童は自分で学習することができる。また、手引きには、児童に付けたい力が分かりやすく示してある。 ② 伝統と文化に関する内容の記述は、第 6 学年に説明的文章「鳥獣戯画を読む」があり、古典作品を取り上げている。 ③ 書くことの課題設定までの方法として、ブレインストーミングや考えを助ける図表等の方法を提示している。 ④ 課題設定と解決方法の手引きが対応しており、課題解決的な学習が実施できる。 ⑤ 三次市の児童の課題である「読むこと」の内容が分量的に多い。 ⑥ 説明的文章において、筆者の意図と図表や写真・グラフ等の配列や配置が適切に関連付けられており、説明の仕方の工夫を生かして書く活動を行うことができる。 ⑦ 巻末資料「学習を広げよう」は、学習の途中や他教科等の学習でも活用しやすいものとなっている。 ⑧ 知識や経験に照らして自分の考えをまとめて論述する活動の工夫では、読む活動を生かした書く活動の内容を明確に示している。 |
| 書 写 | 光 村 | ① 毛筆の姿勢を、大筆、小筆、鉛筆の場合で比べながら写真で示し、筆の持ち方を示したり、用具の名前と置き方・用具の片付け方を説明したりしている。 ② 日常生活で実際に書く場面を想定して具体例を取り上げ、書く時のポイントを分かりやすく説明している。 ③ 第 3 学年以上の学年において、硬筆記入欄の分量（ページ数）が多い。 ④ 始筆・送筆・終筆のよい例と悪い例を示し比較させたり、筆の先を子どもの髪の毛の先で表し、そのイラストで方向を示したりして、毛筆入門期の児童にとって分かりやすい内容になっている。 ⑤ 手紙やはがきの書き方など、日常生活での活用を意識した内容が多くある。 |
| 社 会 | 東 書 | ① 小単元の学習課題が「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という配列で提示されており、社会科の問題解決の流れにそった学習展開を促すようになっている。 ② 学習上重要なキーワードを「ことば」として示し、学習内容の定着を図ることができる。 ③ 全ての小単元の最後に、単元の学習で出てきた「ことば」の一覧を提示し、学習をまとめたり、自分の考えを説明したりする言語活動に活用できるようになっている。 ④ 学習したことを生かして社会的な事柄に参画したり、提案・発言したりする学習場面を多く例示している。 ⑤ 様々な言語活動例が示されており、思考力・表現力を高めるだけでなく、お互いの考えを深め合うことができる。 ⑥ 多くのノート例が示されているので児童の自主学習の参考となる。 |

| | | |
|-----|-----|---|
| 地 図 | 帝 国 | <ul style="list-style-type: none"> ① 地図の使い方を，方位，土地の高さ，地図記号，距離，縮尺の順に，6 ページにわたり分かりやすく説明している。 ② 地方図の中に，広島市の原爆被害状況，神戸市付近の災害への備え等，各地域の特徴的な内容を示している。 ③ 三次市内の地名が多く掲載されているため，自分たちの地域と県全体，日本，世界と比較しながらの学習に適している。 ④ 江戸時代の交通路地図や歴史の舞台となった場所の地図，年表が記載され，6年生の歴史学習にも活用できる。 ⑤ 「地震・火山の災害と防災」のマップづくりで，地図のまとめ方のヒントや手順を示し，地図の作品例を掲載するなど，活用の仕方が多く記載されている。 ⑥ 資料ページの「トライ！」では，学び方や調べ方の簡単な作業を指示し，資料活用の仕方を示している。 |
| 算 数 | 東 書 | <ul style="list-style-type: none"> ① 全国学力・学習状況調査や「基礎・基本」定着状況調査，三次市学力到達度検査のつまずきに対応した工夫がある。 ② 本文の問題に関連した「ほじゅうのもんだい」が全学年巻末にあり，個に応じた学習ができる。 ③ 既習事項を確認する「ふりかえりコーナー」が全学年にあり，家庭学習の習慣化につながる。 ④ 学習したことを振り返ることができる「さく引」が全学年にある。 ⑤ 算数の言語活動例として「考えよう伝えよう」の特設ページがある。 ⑥ 1年生から具体的なノート例を掲載している。 ⑦ 「算数の目で見よう」は，実生活に活用できる算数の力を育成することができる。 ⑧ 4年生の「折れ線グラフ」を，理科の「気温」の学習との関連を考え，第1単元に担当している。 ⑨ 全学年の目次には，各単元の「前の学習」と「後の学習」を示し，系統性が分かりやすい。 |
| 理 科 | 教 出 | <ul style="list-style-type: none"> ① 巻末に「この1年間で学んだこと」を設け，1年間で学習した内容がまとめられている。 ② 実験・観察について，黒の破線で枠を設け，別の実験方法を示している。 ③ 第6学年の巻末に「かんきょうミニずかん」を設け，生物愛護，環境保全，地球にやさしい技術などの内容を紹介している。 ④ 問題解決の過程に沿ったノート記述例を示す中で，変える条件，同じにする条件を区分して条件制御の視点を示している。 ⑤ 巻頭では，達人のメッセージと春の野原，花や虫，河川の航空写真，月面の資料を示し，自然に対する感性を育む扱いをしている。 ⑥ 「予想しよう」「計画しよう」「結果から考えよう」等の問題解決の場面で話し合いの活動を設けている。 ⑦ 「確かめ」の場面及び「学んだことを使おう」の場面において，説明させたり，話し合わせたりする機会を設けている。 |

| 種 目 | 発行者 | 採 択 理 由 |
|-----|-----|--|
| 生 活 | 東 書 | <p>① 上巻の始めに「すたあとぶっく」として、学校生活に必要な習慣や技能例を写真で掲載し、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図っている。</p> <p>② 植物の「ほんとうのおおきさずかん」(原寸大図鑑)や、種から実になるまでの成長過程の写真など、児童の心を揺さぶる写真や挿絵が豊富である。</p> <p>③ 「たんけんでみつけたことをはなそう」「つたえるじゅんぴをしよう」「みつけたことからかんがえよう」など、上下巻を通して、児童の思考を促し、気付きの質を高める言語活動を促す工夫がある。</p> <p>④ 6人の主人公(挿絵)が登場し、児童に「わたしもしてみたい」「わたしといっしょだ」という思いをもたせることで、活動への意欲を高め、気付きを促す工夫がある。</p> <p>⑤ 見開きの左ページの定位置に小単元名・活動のめあてが示してあり、児童に分かりやすい。また、活動のめあては、指導者の発問に繋がるように工夫してある。</p> <p>⑥ 「道具の安全な使い方」や「安全な登下校」などを、巻末の「べんりてちょう」に掲載し、生活上必要な技能を身に付けるための工夫をしている。</p> <p>⑦ 上巻末に「ポケットずかん」があり、校外学習のヒントをまとめている。切り離して使うことも可能になっている。</p> |
| 音 楽 | 教 芸 | <p>① 全学年、「学習目標」の下に、目標達成のための支援となる活動文が書かれているため、その文に立ち返りながら指導を展開することができる。</p> <p>② リコーダーの学習では、児童目線でのイラストや写真の使用、学習する音の順序、息の強さなどに配慮し、能力や技能の育成を図っている。</p> <p>③ リコーダーの学習では、低いドの吹き方も指導することで、楽曲を1曲演奏できる楽しさを味わうことができる。</p> <p>④ 音楽づくり(リズム・旋律づくり)などが、1年生から6年生までの全てにあり、系統的な指導ができる。</p> <p>⑤ 奏法の仕方が、題材と同じページに掲載してあり、分かりやすい。</p> <p>⑥ 巻末に音符や記号、音階、リコーダーの運指表等があり、既習内容を確認することができる。</p> |
| 図 工 | 開隆堂 | <p>① 各ページ(単元)の始めに、図工で大切にしたい3つの力に沿った目標のうちの1つを示し、ページ(単元)の終わりに4観点でのふり返りの視点を示している。</p> <p>② 全学年に「ゆめをかたちに」(夢を追い続ける作家を取り上げ、作品と共に紹介するページ)があり、道徳的心情を養うことができる。</p> <p>③ 全学年に「ひらめきコーナー」(休憩時間などの短時間で取り組める紙工作を紹介するページ)や「形と色でショートチャレンジ」(短時間で絵の発展的な指導をする題材)がある。</p> <p>④ 作品の説明では「作品名」「大きさ」「解説」があり、作品を3方向から見たり部分的に拡大したりした写真があり、分かりやすい。</p> <p>⑤ 鑑賞では、指導者の発問とともに、たくさんの児童の意見を掲載しており、対話型鑑賞のイメージをもちやすい。</p> |

| | | |
|------------|------------|---|
| <p>家 庭</p> | <p>開隆堂</p> | <p>① 「初めて家庭科を学ぶ5年生では、基礎・基本がしっかり身に付くように題材を細かく構成・配列し、スモールステップで学習を積み上げる。続く6年生では、5年生の学習を基に計画的に工夫・応用しながら生活に生かしていく力を身に付ける。」というストーリー性のある題材の構成・配列になっている。</p> <p>② 実習と製作の仕上げに「できたかな」を15箇所設け、どのような技能が身に付いたかを自己評価することができる。</p> <p>③ 学習のめあてとそれに対応したふり返りがある。ふり返りはチェック形式になっており、内容が具体的である。</p> <p>④ 基礎から応用へ発達段階に応じて内容が系統的に配列されており、四つの領域を関連付けた学習内容を展開している。</p> <p>⑤ 実践化を促す工夫として、「チャレンジコーナー」を例示している。</p> |
| <p>保 健</p> | <p>東 書</p> | <p>① 1単位の時間の内容を見開きで構成しており、児童にとって分かりやすく、また、指導者にとっては問題解決型の学習を進めやすい。</p> <p>② 冒頭に「学習課題」を明示し、「学習活動」として「話し合ってみよう」「振り返ってみよう」「考えてみよう」「活用して深めよう」等の活動を明記し、学習の流れと活動内容を示している。</p> <p>③ 「つなげよう」を設け、保健の他学年での学習内容や、他教科等との関連を示している。</p> <p>④ 各章末に「広げよう」として資料ページを設け、本文に関連する資料を豊富に掲載している。</p> <p>⑤ 「まめちしき」を設け、知っておくと役立つことを掲載している。</p> <p>⑥ 3・4年生の教科書の目次には5・6年生の学習内容、5・6年生の目次には3・4年生の学習内容が掲載されており、見通しを持たせることができる。</p> <p>⑦ 図表・挿絵・写真は、色彩がやさしく鮮明であり、内容を視覚的に捉えやすい。</p> |